

令和2年版

# 水害に関わる防災授業資料

## — 中学校版 —

令和2年 9月










国土交通省 近畿地方整備局  
豊岡河川国道事務所

(資料提供・編集協力)  
豊岡市

## 洪水に関わる防災授業資料について

自然災害から命を守るためには、幼少期からの防災教育が重要との認識のもと、災害対応の実務を担う国土交通省では、学校教育現場における防災教育の支援に係る取組を強化しております。国土交通省 豊岡河川国道事務所では、豊岡市と連携しながら、平成29年度から小学校向けに洪水を対象とした防災授業教材を作成し、10月の台風23号メモリアル防災授業において多くの学校で教材をご活用いただいているところでございます。

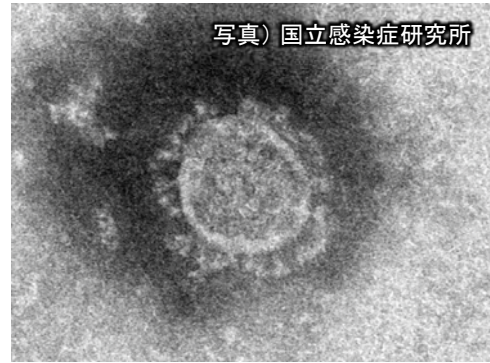
令和2年度は、中学校における防災学習への協力もしたいと考え、教員等からのご意見等をふまえ、学習指導案、パワーポイント等の作成を図りました。また、本年度につきましては、全世界で猛威を振るっている新型コロナウイルスに関する記載も加え、コロナ禍における災害避難に関する資料も整えました。防災学習にかかる授業の一事例としてご参考いただき、授業の展開に応じて適宜修正・抜粋するなど、皆様の授業の一助になれば幸いです。

	令和元年度まで	本年度・令和2年度	
	水害 小学校版	水害 中学校版 (テーマ①～③ として掲載)	コロナ禍避難 中学校版 (テーマ① として掲載)
学習指導案 ・ ワークシート			
授業用 パワーポイント 資料			
児童・生徒用 副読本			

▲防災授業資料 作成状況  
(円山川流域・豊岡市内の小中学校を対象)

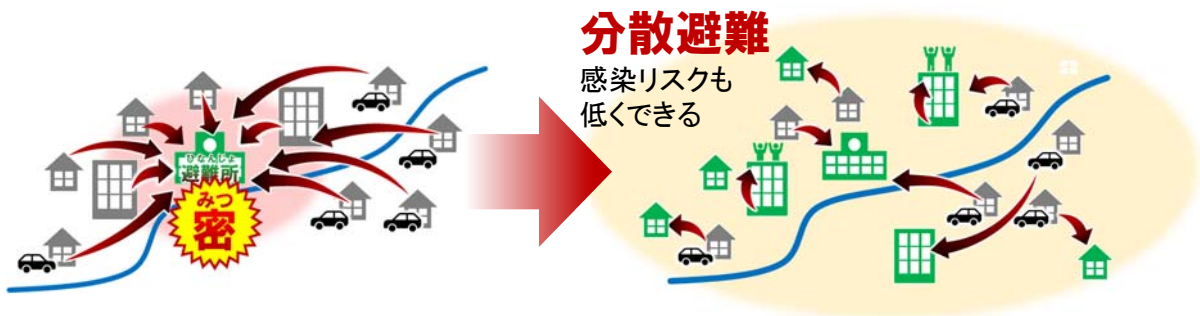
## コロナ禍における避難 ～分散避難～

令和2年7月現在、日本も含め全世界が**新型コロナウイルスの猛威**にさらされています。このコロナ禍での災害避難を考えると「避難所・学校へ多くの地域住民が集中して避難してきた」となった場合、いわゆる“三密”になり、災害という難を避けられても、新型コロナウイルスという難を避けるという観点では、必ずしも適切とは言えない状況になってしまいます。



▲新型コロナウイルスの電子顕微鏡写真

そのため、「避難＝難を避ける行動」という再認識のもと、コロナ禍においては**分散避難**が求められています。分散避難とは、「避難所避難」だけでなく、自宅での安全が確保できる場合「**在宅避難**」や「**親戚・知人宅避難（ホテル避難）**」といった多様な避難によって分散をすることで、地域全体の感染リスクも低下させられる避難のあり方です。学校防災教育においても、分散避難の考え方を念頭において展開する必要性が高まっています。



▲ コロナ禍において求められる「分散避難」

▲ 「分散避難」における多様な避難のあり方

# 学習指導案の特徴 ～小学校向け防災学習資料と統一して～

## ◇「育成すべき資質・能力」の「三つの柱」を踏まえた授業案

文部科学省では「新しい学習指導要領等が目指す姿」について、「学習する子供の視点に立ち、育成すべき資質・能力」を「三つの柱」として示しており(下図参照)、ここでは「教育課程には、発達に応じて、3つをそれぞれバランスよくふくらませながら、子供たちが大きく成長していけるようにする役割が期待されて」いるとしています。そこで、本書では、防災教育においても、その「三つの柱」を踏まえ、それぞれの観点を含んだ授業案を作成しました。

本書では、「三つの柱」の該当項目の一例を、作成した学習指導案の「指導上の留意点:評価(☆)」に記載しました(表記例: **知識** **思考力** **人間性**)ので、ご参考・ご活用ください。

## ◇「アクティブ・ラーニング」に準ずる学習項目の導入

学習指導要領で焦点をあてられていることのひとつである、「主体的・対話的で深い学び」、いわゆる「アクティブ・ラーニング」の視点も持ちながら、授業案を作成しました。(表記例: 学習指導案の   部分)。

「育成すべき資質・能力」の「三つの柱」

もふまえて考えること... 示す。  
学んだことを生かして、グループで話し合いながら意欲的取り組んでいる。  
主体的に学習に取り組む態度

## 「アクティブ・ラーニング」に準ずる学習項目

### (参考) 育成すべき資質・能力の三つの柱

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を単独でとらえるのではなく、統合的にとらえて構造化することを目指す

### 学びに向かう力、人間性等

どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

どのように学ぶか  
(アクティブ・ラーニングの視点からの普段の授業改善)

学習評価の充実  
カリキュラム・マネジメントの充実

何を理解しているか  
何ができるか

**知識及び技能**

理解していること・  
できることをどう使うか

**思考力、判断力、表現力等**

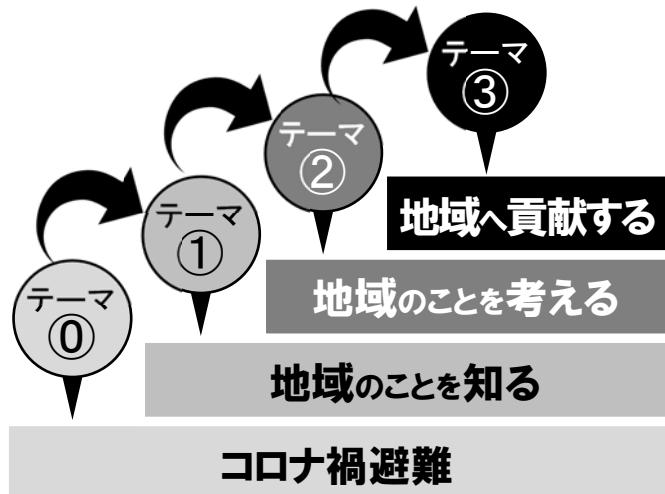
※文部科学省「高大接続システム改革会議(第13回) 配付資料: 学習指導要領等の改訂に向けた検討状況について」を参考に作成

## 中学校向け防災学習資料の構成

### ◇学齢に応じたテーマ設定

中学校では、小学校以上に「自ら学び」「自ら考え」「自ら行動」することが求められる学齢期となります。また、中学校の学齢期における防災学習では、岩手県釜石市の防災教育に代表されるように「助けられる側から助ける側へ」といった観点で取り組むことで、子供たちの防災力向上のみならず、学校防災教育を通じて地域全体の防災力向上に寄与することも示唆されており、その観点での防災教育の展開が社会全体で重要とされております。

そこで、本書では、それらの観点に立ち、以下の授業案を作成しました。コロナ禍における災害避難(分散避難)については、これからの避難の考え方の標準になることが考えられるため、それを土台として、それ以後、ステップアップしていくイメージで全体を構成しました。授業時間の都合も考え、それぞれ単一での展開も可能となるようにも作成しております。



あくまでも本事務所からの案ですので、使いやすく修整・抜粋して使用するなど、子供たち・学級の様子に合わせて、各学校・各先生方で創意工夫のうえ、ご活用ください。

テーマ	ねらい
テーマ① “分散避難”の考え方を知る	新型コロナウイルスが蔓延するなかでの避難を考える
テーマ② 学ぶ力を身に付ける	避難できない人間の心理を理解する
テーマ③ 考える力を身に付ける	水害時の具体的な避難行動を考える
テーマ④ 貢献する力を身に付ける	水害犠牲者ゼロを目指して中学生の自分たちにできることを考える